

チョウセンゴミシ	<i>Schisandra chinensis</i> (Turcz.) Baill.	絶滅危惧Ⅱ類
		マツブサ科
選定理由	生育地が限定されているうえ、個体数が少ない。	写真(高橋弘)
形態の特徴	多くの個体は雌雄同株だが、単性の個体もある。花被片は薄くて白色。雄花の雄蕊は5-7本あり、直立して基部が互いに合着する。雌花の雌蕊群は淡緑色の多数の雌蕊が球形に集まるが、花後花床が伸長してブドウの房状の集合果を形成する。分果は赤色になる。	
生態的特徴	花期は5月下旬から6月中旬。	
分布状況	朝鮮半島から中国北部、沿海州、及びサハリンに分布し、日本では本州の中部以北と北海道にある。岐阜県では県北の北部に少しある。	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘